

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成14年 **2002.1**

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第64号

ロシア大使・森前首相が来学

TOPNEWS

初雪が舞った12月10日、アレキサンダー・N・パノフ駐日ロシア大使夫妻と森喜朗前内閣総理大臣が、本学を表敬訪問した。パノフ大使からは、昨年8月に医学部附属病院で行われたエフゲニー君の難病治療についての謝辞や、本学とロシアとの積極的な国際交流推進の希望などが述べられた。

本学からは、林勇二郎学長、花岡美代次副学長、畑安次副学長、小林昭経済学部長、樋渡保秋理学部長、馬淵宏医学系研究科長、畑朋延工学部長、河崎一夫医学部附属病院長、水上修一事務局長が出席した。



パノフ駐日ロシア大使夫妻(中央)と森前首相(右)に本学の概要について説明する林学長(左)
=学長室で



サテライト・プラザが新装オープン

1月12日、装い新たに金沢大学サテライト・プラザが金沢市西町教育研修館にオープン。その模様は次号でお知らせする予定。



=12月25日、金沢市西町教育研修会館1階
大学インフォメーションセンター

巻頭言

世外に心を澄ます



学 長
林 勇二郎

12月某日、還暦を迎えた高校時代の仲間が華甲の茶事に集った。亭主は同期で茶人のY氏。茶席の休祥庵は街中とは思えない静かな佇まいであった。気忙しい年の瀬である。アフガンの戦火が日々伝えられ、国内にあっても何かと騒がしい。亭主のもてなしは世俗を忘れさせ、心を和ませる。

酒と料理が進む頃、恩師のT先生が一首詠まれた。

時運徒間燧火酣

澄心世外盃中参

当年故旧今華甲

嗜茗遊嬉歳晚庵

逸無斎

耳を傾けながら、あれこれと一年を振り返る。本学で次々に起きた出来事もまた時運であり、徒に聞く燧火ではなかったか。そして、これらを世外のことし、静かに盃を重ねた。

国立大学そして本学にとって、いよいよ今年は正念場となろう。法人化が間近に予想される中で、大学の再編・統合は加速されるであろうし、教員養成課程の問題も予断を許さない。トップ30など、評価に基づく競争原理も動き出しつつある。大学改革が酣となる中で、大切なのは流れに乗って自分を見失わないことであり、そのために自らの基盤を強化することである。

グローバル化が一段と進む時代である。人材の育成においても、知の創生においても国際的に通用することが求められ、その一方で地域との密着が問われている。社会に対する大学の開放は、大学が地域に根ざし、個性的な情報を世界に向けて発信するうえで必須となっている。日本海側に位置する北陸の地域や、ここでの学術文化の中心となる大学は、これまで比較的ゆつくりした流れの中で質の高いクリエイティビティを發揮してきた。しかしこれからは、人・物・情報が激しく往き来する中で個性を打ち出していかねばならない。開放が過去の淀みを吹き出させることになれば、これもまた時運であろう。

元旦の朝、近くの椿原神社に初詣に出掛け、そのまま崖沿いに散歩の足を伸ばした。途中、小立野台地を切り開いてきた新道を見上げ、とどまることのない人為を覚えるが、これは宝町と角間のキャンパスを結ぶ主要なルートである。鶴間坂の手前あたりで金沢市指定の保存林に立ち寄る。崖には朱色に熟した烏瓜がぶら下がり、雪に覆われた藪の中から赤い実が顔を出していた。山菜蕨の蕾はまだ固いが、蠟梅は早くも香気を漂わせていた。

グローバル化は人間の行動を拡大し、時の流れを早めている。しかし、自然は確かな刻みで移ろいでいる。グローバル化に翻弄され、本来(自然)の流れを忘れるようなことがあってはならない。改革は急がねばならないが、渦中に吞まれて本質を見失ってはならない。Festina lente. ゆつくり急ぐことこそ大切であり、そのためにも世外に心を澄ましたいものである。お茶席は足が痺れるので苦手だが、さいわい本学のキャンパスには静かで大きな自然がある。今は雪に覆われているが、やがて学内の動きと呼応して、土中で虫が蠢き草木が萌動することだろう。

目次

ロシア大使・森前首相が来学……………	1	理学部「地域教育交流事業支援室」及び「金沢子ども科学財団協力室」を設置……………	8
サテライト・プラザが新装オープン……………	1	第7回石川県高等学校理数科課題研究合同発表会……………	8
「世外に心を澄ます」学長 林 勇二郎……………	2	心肺蘇生講習会に小学生が参加……………	9
「国立大学法人に関する講演会」を開催……………	3	公開講座「IT社会と交通システム」が開講……………	9
学生教育・生活・就職担当教官等研究会を実施……………	3	本学へのお客さま……………	10
学位記授与式……………	4	留学生が書道に親しむ……………	10
院内感染対策職員研修会……………	4	公開講座(受講者限定)現代の生物学……………	10
工学部 教育方法改善『教師必携』を作成……………	4	交通安全講習会……………	11
第11回石川地域留学生交流推進会議を開催……………	5	「夢どりいしかわ2001」	
教養の科目における公開授業……………	5	花壇出展の本学に感謝状が贈られる……………	11
第11回産官学セミナー……………	6	「金沢大学の改革(案)」	
公開シンポジウム		「教育研究のグランドデザイン」の検討進む……………	11
「子どもの「育て」と「育ち」を考える」……………	6	金沢大学国際交流後援会の賛助員募集……………	11
第6回オータムセミナー……………	6	キャンパス点描……………	12
附属図書館シンポジウム……………	7	留学生が防火訓練……………	12
日本銀行金沢支店長が特別講演……………	7	編集後記……………	12
外国語教育研究センター講演会……………	7		
浅井さんに卒業証書授与……………	8		

研究・研修

「国立大学法人に関する講演会」を開催

12月19日、中央青山監査法人公会計部部长（国立大学担当、公認会計士）・中元文徳氏を招いて「国立大学法人に関する講演会」が開催され、本学教職員及び北陸地区国立学校職員約300名が聴講した。



講演する中元中央青山
監査法人公会計部部长
＝総合教育棟 B1教室で

学生教育・生活・就職 担当教官等研究会を実施

12月3、4日、大学教育に学生の希望を反映させ、豊かな学生生活を実現させることを目的に、学生教育・生活・就職担当教官、学生部職員及び各学部学生担当職員の研究討議が辰口共同研修センターで行われた。

研究会では、上田和宏日本福祉大学キャリア開発部長が「アドバイザーシートを用いた導入期支援とキャリア開発支援への接続」と題して講演した。



講演する上田日本福祉大学キャリア開発部長
＝12月4日、事務局6階大会議室で

ニュースの杜

学位記授与式



12月6日、医学部会議室で「平成13年12月医学系研究科学位記授与式」が挙行された。

博士課程修了者11名、学位論文提出者10名に、それぞれ学位記が授与された。



博士課程修了者総代として林学長から学位記を受ける池永康規さん(上)と、祝辞を述べる馬淵医学系研究科長(右)
＝医学部会議室で

院内感染対策職員研修会

12月2日、医学部附属病院合同カンファレンスルームで、院内感染対策チーム(HICT)主催による院内感染対策職員研修会が実施され、医師や看護婦など約100名が参加した。

研修会では、一山智京都大学教授が「院内感染対策の実際と問題点」と題して講演した。



講演する一山京都大学教授
＝医学部附属病院
合同カンファレンスルームで



ニュースの杜

工学部 教育方法改善 『教師必携』を作成

工学部では、教育方法改善の取組みが進んでいる。冊子工学部版『教師必携』の作成と全教官への配布、講義を自己確認するためのビデオカメラの設置、学生による授業の評価、ホームページの工夫などに取り組んでいる。

山崎光悦工学部教育方法改善委員会副委員長は、「学生との双方向性を重視し、さらに改善に取り組みたい」と抱負を語った。



ビデオカメラ設置教室で講義する
藤田政之教授
=12月11日,工学部41番教室で



工学部版『教師必携』



あいさつする林議長
=事務局大会議室で



第11回石川地域留学生 交流推進会議を開催

12月5日、事務局大会議室で第11回石川地域留学生交流推進会議が開催され、本学を含めて県内から23機関の代表者が出席した。

林議長（本学学長）のあいさつの後、畑安次運営委員会委員長（本学副学長）の司会で協議が進められた。

教養的科目における公開授業

11月29日、「教養的科目における公開授業」の一環として、樋渡保秋理学部長が物理学Ⅱの公開授業を行った。学生のほか各学部から約10名の教官が参観し、公開授業後には研究会が開かれた。



樋渡保秋理学部長による公開授業
=総合教育棟B8講義室で

学会・シンポジウム

第11回産官学セミナー

11月29日、金沢市内のホテルで「第11回産官学セミナー」が開催され、林学長が「大学と産学連携」と題して基調講演した。



林学長による基調講演
=金沢市内のホテルで

-子どもの「育て」と「育ち」を考える-



12月1日、教育学部主催による公開シンポジウム「子どもの『育て』と『育ち』を考える」が金沢市内のホテルで開かれた。

シンポジウムは、金子勲栄教育学部教授の司会により進められ、村井淳志助教授らがパネリストを務めた。

シンポジウムの様子
=金沢市内のホテルで

第6回オータムセミナー

11月30日、12月1日の両日、文部科学省全国国立大学放射線技術者研修「第6回オータムセミナー」が、本学を当番校として金沢市内のホテルで開催され、全国から約100名が参加した。



竹田幸博文部科学省高等教育局医学教育課
大学病院指導室医療専門官による特別講演
=11月30日、金沢市内のホテルで

学会・シンポジウム

附属図書館シンポジウム

12月7日、平成13年度附属図書館シンポジウム「学術情報の流通とコンピュータ～学術出版の未来像～」が大学会館ホールで開催された。

和田敬四郎附属図書館長の司会によるパネルディスカッションでは、木越治文学部教授、中西秀彦中西印刷(株)専務、室井尚横浜国立大学助教授がパネリストとして討議した。



あいさつする和田附属図書館長（上）と
パネルディスカッションのようす
＝大学会館ホールで

日本銀行金沢支店長が特別講演

12月10日、鈴木茂日本銀行金沢支店長による特別講演「最近の金融経済動向について」が経済学部と法学部の学生を対象にA102講義室で開催され、約70名が聴講した。



講演する鈴木日銀金沢支店長
＝文・法・経済学部棟A102講義室で

外国語教育研究センター講演会

12月7日、外国語教育研究センターは、小原金平金沢学院大学教授を講師に招き、「海外交流と留学生派遣」と題する講演会を開催し、23名が参加した。



講演する小原金沢学院大学教授
＝総合教育棟会議室で



トピックス

浅井さんに卒業証書授与



森校長から卒業証書を受け取る浅井さん
＝附属中学校柏樹ホールで

12月25日、旧石川女子師範学校附属小学校高等科に在籍していた浅井あいさんへの卒業証書授与式が挙行政され、本学教育学部附属中学校の森源三郎校長から卒業証書が本人に授与された。式には林学長、杉本幹博教育学部長等が出席した。



記念品を渡す林学長

理学部「地域教育交流事業支援室」及び「金沢子ども科学財団協力室」を設置

このたび、理学部では表題にある2つの室を新しく設置した。これは各種事業の推進に係る情報提供や支援活動を目指すとして設置されたもの。



樋渡地域教育交流事業支援室長（理学部長、右）と
鎌田啓一金沢子ども科学財団協力室長（理学部助教授、左）
＝11月9日、理学部棟で

第7回石川県高等学校理数科課題研究合同発表会

12月15日、医学部十全講堂で金沢泉丘・小松・七尾の3高等学校生徒による理数科課題研究合同発表会が行われ、理学部から6名の教官が出席し、専門の分野について講評を加え、未来の科学者達にエールを送った。



高校生による発表
＝医学部十全講堂で

トピックス

心肺蘇生講習会に小学生が参加

12月21日、医学部学生による心肺蘇生講習会に金沢市立明成小学校から12名が参加した。

劇を通じ、家族が倒れた場合の対応について、助けを呼ぶ方法や意識の確認方法などが紹介された。



劇に参加して家族が倒れた場合の対応を学ぶ小学生
=金沢市中央公民館彦彦館で



講義する高山純一工学部教授
=工学部秀峯会館で

公開講座 「IT社会と交通システム」が開講

12月8日、公開講座「IT社会と交通システムーこれからの都市交通の新たな試みー」が開講し、22名が受講した。

なお、平成13年度開講の公開講座は下表のとおり。

平成13年度の公開講座

講座名	主任講師等	開催場所	開催時期
市民のための哲学入門	岡崎 文明	大学教育開放センター	5月8日～6月5日
有機合成化学実験を体験してみよう	染井 正徳 ほか2名	薬学部 薬化学研究室	5月12日～6月2日
美術へのいざないⅠ ー中世イタリア金地テンペラ技法による小品制作ー	大村 雅章 ほか1名	教育学部 自然棟3階第2絵画室	6月6日～7月11日
みんなのスポーツ ー豊かなスポーツライフを考えるー	佐川 哲也	大学教育開放センター	6月9日～6月30日
音楽へのいざない(A) ピアノ公開レッスンーピアノ演奏の実践(Ⅰ)	小野 隆太	教育学部 第1ピアノ室	7月5日～7月26日
音楽へのいざない(B) 音楽の楽しみ方いろいろ(Ⅰ)	篠原 秀夫	教育学部 音楽ホール	7月7日～7月21日
ゼロエミッションをめざす環境技術	金岡千嘉男	工学部 秀峯会館	7月7日～7月8日
視聴覚で確かめる 'くらしの中の放射線' ー体験講座ー	森 厚文 ほか2名	アイソトープ総合センター	9月5日～9月26日
法学公開講座 石川：21世紀への提案 ー転換期に問われる社会制度ー	大矢根 聡 ほか7名	大学教育開放センター	9月8日～10月27日
電子・情報・システム技術者のためのDSPによる デジタル信号処理技術入門	西川 清	工学部 秀峯会館	9月25日～9月27日
家族のくらしの今とこれから	綿引 伴子 ほか2名	大学教育開放センター	10月4日～11月8日
現代の生物学 ーバイオの時代に生きるー	笹山 雄一	理学部臨海実験所	12月1日～12月2日
病気の検査	河原 栄 ほか6名	医学部 保健学科講義室	10月24日～12月5日
数学の館へようこそ	児玉 秋雄 ほか3名	大学教育開放センター	10月27日～12月8日
美術へのいざないⅡ 大人の造形遊び ー紙版画による作品制作ー	鷺山 靖 ほか1名	金沢市西町教育研修館 金沢大学サテライト・プラザ	11月13日～12月18日
IT社会と交通システム ーこれからの都市交通の新たな試みー	高山 純一 ほか4名	工学部 秀峯会館 中会議室	12月8日～2月2日
新 世界経済と日本経済	上條 勇 ほか4名	金沢市西町教育研修館 金沢大学サテライト・プラザ	1月19日～2月16日

学長室から

本学へのお客さま



Samir Issa Naouri駐日ヨルダン大使
(中央)
=12月17日, 学長室で



中華人民共和国大連大学訪問団
=12月11日, 特別会議室で



彭新実在日中華人民共和国大使館一等書記官
(右から2人目)
=12月3日, 学長室で

留学生が書道に親しむ

留学生センターの課外活動として、問谷元子学生部学生課学務情報係長の指導のもと、留学生約10名が書道に親しんでいる。12月18日には、毛筆による年賀状制作に取り組んだ。



左から 土屋佳奈子教育学部総務係事務主任, 問谷学務情報係長, セーラー チンダーポーンさん (文学部研究生), 史燁さん (経済学部2年)
=角間ゲストハウスで

公開講座 (受講者限定) 現代の生物学

12月1, 2日, 石川県内の中・高等学校教員を対象に, 公開講座「現代の生物学—バイオの時代に生きる—が理学部附属臨海実験所で開催された。



=12月1日, 理学部附属臨海実験所で

トピックス

交通安全講習会

12月6日、教養教育機構の主催による「平成13年度第2回交通安全講習会」が総合教育棟で開催され、約100名の学生が参加した。



=総合教育棟で

「夢みどりいしかわ2001」 花壇出展の本学に感謝状が贈られる

12月25日、第18回全国都市緑化いしかわフェア「夢みどりいしかわ2001」の感謝状贈呈式が石川県知事室で行われ、本学から畑副学長（花壇出展金沢大学実行委員会委員長）が出席し、感謝状を受け取った。



谷本正憲実行委員会会長（石川県知事）から
感謝状を受け取る畑副学長（左）
=石川県知事室で

「金沢大学の改革(案)－教育研究のグランドデザイン」の検討進む

本学の基盤整備にかかる学部等の再編・統合について、8月8日以来、鋭意検討が進められ、12月21日開催の第625回評議会で、次のとおり基本的な方向が承認された。

- ① 学部等の再編・統合は、文系、自然系及び医系の3学部体制とする方向で進めること。
- ② 教員組織と学生組織を分ける方向で進めること。
- ③ 学部・大学院等の組織の構造の詳細については、特に文系学部にあつては教員養成課程の在り方等と関連するため、今後の検討課題とすること。
- ④ 新体制への移行は平成16年度を目途とするが、いわゆる中期計画に書き込むことになる場合もあること。
- ⑤ 現在継続している、あるいは緊急性の高い概算要求事項については、進行中の大学改革と整合させつつ早急に進めること。

金沢大学国際交流後援会の 賛助員募集

本学の国際交流事業を推進するため、「金沢大学国際交流後援会」を3月に設立します。そこで、後援会設立を前に学内教職員の方々に賛助員として募集しています。

教職員の皆様のご協力をお願いいたします。

募集期間：1月4日～2月28日

照 会：総務部国際交流課まで



キャンパス点描

里山に住む動物たち

夜間に角間キャンパスで活動する動物たちの姿がこのたび撮影された。11月下旬から、大学院自然科学研究科生命・地球学専攻の横山将光君が、市販の小型カメラに赤外線感知型センサーを組み込んだ自動撮影カメラを使用し、撮影に成功した。



テン



ノウサギ



ハクビシン



ホンダタヌキ



留学生が消防訓練

12月12日、留学生が消防訓練を行った。通報訓練や避難訓練に続き、消火器による消火訓練を体験した。

消火器による消火を体験する留学生
＝国際交流会館前で

編 集 後 記

学長から、年頭の巻頭言をいただいた。そして、本号もまた多くの方々の協力で発行できたことに感謝したい。

広報の仕事は、一つの部局にあったことを、学内はもとより学外にも広く知らせることである。直接見ることができないものを見えるようにすること——この頁のキャンパス点描「里山に住む動物たち」を見て思い出した。

1月12日に「金沢大学サテライト・プラザ」が新しくなってオープンした。2月7日、8日には、全国99国立大学の企画広報担当課長・室長情報交換会をこのサテライトで開催することとした。「金沢大学サテライト・プラザ」の全国へのお披露目でもある。
(総務部企画広報室長 寺井 嘉治)



＝1月4日、事務局入り口にて撮影
絵画は池端良伸人事課職員係長、
書は吉居真吾企画広報室広報係員による

平成14年1月18日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5009
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。